

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	5-19-004
地域資源名	越前漆器	認定日	平成19年10月12日
地域	福井県鯖江市	所管省庁	経済産業省

事業名:越前漆器の外食産業用食器、和食器、洋食器、インテリア製品、ギフト用品等の「ナチュラルウッド」製品の開発、製造、販売

会社名:有限会社飯椀の郷

所在地:福井県鯖江市磯部町22-75

連絡先:TEL:0778-65-3838
FAX:0778-65-3900

H P: <http://www.meshiwan.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・「越前漆器」は、約1500年の歴史と伝統を持つ日本最古の漆器産地であり、比較的安価な漆器関連製品を主に扱っていたが、近年、外食産業の形態変化、海外からの輸入品等により、業界を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。
- ・本事業では、越前漆器の優れた技術である、角物木地作りと塗装技術を活用し、更に本格的な漆の伝統工芸品の製造理論を応用することにより、天然木の木目の美しさを引き出した上で、更に強度を兼ね備えた従来にない実用的な製品を、インテリア、食器等へのあらゆるシーンへ展開する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・従来の塗装された製品は、単に素材を保護する、色を付けるに留まっていたが、本製品は、越前漆器の木工技術と塗装技術を活用することにより、塗装を施していないと見間違ふほどナチュラルな雰囲気を持った従来にない新しいコンセプトの塗装製品である。
- ・更に、伝統工芸品におけるメンテナンスシステムの応用、現在開発中の「汚れがつかない塗料」や環境に配慮した塗料などを使用することにより、一層の差別化を図る。

◆市場性

- ・漆器に関連する市場は二極化しており、伝統工芸品である漆器は、常に一定のニーズはあるが、高額となるため市場規模は限定されている。一方、工程を簡略化した漆器関連商品市場は、近年縮小傾向にあり、新たなコンセプトに基づく市場の開拓が求められている。

◆販路

- ・本事業では、あらゆる可能性を探るため、様々な試作品を開発、製造し、実物の質感、風合い等をバイヤーに訴えかけていく。

地域資源における関係事業者との連携

- ・漆器業界は問屋制家内工業の形態をとっているため、本事業の遂行にあたっては、産地内の様々な製造者に協力を仰ぐこととなる。



【伝統工芸士の山口怜示氏】



【木地作りの様々な道具】